

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

学校名	鳥栖市立鳥栖小学校		
1 前年度 評価結果の概要	<p>・【学力向上の推進】昨年度も、学習課題の提示の工夫や話し合い活動を重点的に取り組んできた。その成果は学習状況調査や学力向上評価シートからも分かるように着実にあがってきている。また、学年に応じた家庭学習や自主学習についての目標もおおむね達成することができた。今後は、さらなる話し合いの活動の質（目的や聞く力など）の向上のための方策が必要である。家庭での自主学習についても、どの児童も意欲的に取り組めるような学校全体での工夫も考えていかなければならない。</p> <p>・【開かれた学校づくりの推進】コロナ禍において、多くの保護者に児童の授業での様子を見て頂くことが難しかった。今後もこのような状況が続くならば、各種お便りやHP等で広く保護者に伝えていく方法を講じていきたい。また、学校運営協議会においても地域と学校を結びつける活動を計画できていたが、同様に具体的な活動はできなかった。来年度は、各学年や各学級ごと地域との交流を深める方策を練っていきたい。</p> <p>・【特別支援教育の推進】昨年度も、特別支援教育への理解と配慮を要する児童への支援は、特別支援教育コーディネーターを中心に複数の職員及び外部の関係機関が関わり進めることができた。来年度も一人一人の特性や傾向を理解し、複数の教員が役割をもち、児童への細かな支援を心掛けていきたい</p>		
2 学校教育目標	<p>心豊かで、たくましく、自ら学ぶ”とすっ子”の育成</p> <p>○やさしさいっぱい          ・相手の気持ちを考えて行動できる子          ・社会や地域に目を向け、多様性を認め、人や自然を大切にできる子</p> <p>○元気いっぱい          ・健康安全に気をつけ、体を鍛えることができる子          ・よいことを進んで行い、きまりやマナーを守ることができる子</p> <p>○やる気いっぱい          ・進んで学ぶことができる子（学び合い、発表、学習規律、家庭学習、読書）          ・予想を立て、筋道を通して考え、根気強く解決することができる子</p>		
3 本年度の重点目標	<p>(1) 「鳥栖市教育プラン」の「鳥栖スタイル」の推進</p> <p>(2) 児童が安心して安全に生活ができ、学力向上を図る学校づくり</p> <p>(3) 開かれた学校づくりの推進</p> <p>(4) 職員の資質向上の推進</p> <p>(5) 業務改善・働き方改革の推進</p>		
4 重点取組内容・成果指標			
(1) 共通評価項目			
評価項目	取組内容	重点取組 成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践  ○基本的な学習習慣の定着と家庭学習の質・量の向上	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上  ○学年に応じた家庭学習時間を達成している児童の割合75%以上 ○自主学習に取り組む児童の割合80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。  ・家庭教育の手引きを発行し、家庭学習に対する意識の向上を図る。 ・発達段階に応じた自主学習に取り組ませ、主体的に学ぶ児童の育成を図る。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実  ○教育相談の充実	○道徳を通じ、挨拶に関するアンケートを実施し、「挨拶の大切さを感じ、挨拶について考えることができた」児童80%以上、「実践できた」児童70%以上を目指す。 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)についての組織的対応ができていると回答する職員が100%になることを目指す  ○生活に関する児童へのアンケートで、「学校が(まあまあ)楽しい。」と回答する児童が90%以上になることを目指す。 ○生活に関する児童へのアンケートで、「学校には相談できる先生や友達がいる。」と回答する児童が80%以上になることを目指す。	・保護者の方に道徳科(挨拶に関する領域)の授業を学年部で公開する。(ふれあい道徳) ・生活リズムアップ大作戦とも関連付け、日頃から挨拶の大切さを指導していく。  ・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを確認・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・資料提供を年間に3回以上行う。 ・いじめ事案について学校全体で情報を共有する。  ・職員連絡会や子ども支援会議で配慮を要する児童の実態を共有し、支援の在り方について共通理解を図る。 ・子どもが話しやすい環境づくりを行い、関係機関との連携を図りながら、児童の実態に応じた支援をする。
●健康・体づくり	③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」	③「健康に食事は大切である」と考える児童生徒85%以上 ④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	③栄養教諭と学級担任とのTT授業を行い、食事の大切さを認識させる。食育だよりや給食時の放送を通して、児童・保護者への啓発を図る。 ④登下校時の指導(歩行指導、道路横断の仕方を含む)や一斉下校指導、交通安全教室などを通して、安全指導を行う。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減  ○衛生・安全管理の改善・充実	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。  ○職場における事故0を目指す。	・曜日毎の施錠時刻の設定。(金曜日は原則として定時退勤) ・業務改善案を募り、積極的に業務の改善を図る。  ・定期的に職員室等の整理整頓と環境美化の時間を設定する。 ・ラインケア、セルフケアの両面から職員のメンタルヘルス対策を行う。
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組内容	重点取組 成果指標 (数値目標)	具体的取組
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開を全学級で年間1回以上行う。 ・保護者等に対する教科「日本語」に係る情報(学年便り、学級通信など)を年間3回以上全学級が行う。
○特別支援教育の充実	○研修会開催 ○個に応じた支援体制 ○関係機関との連携	○「一人一人のニーズに合った支援を行うため、個別の支援計画を有効に活用することができた。」と答えた教師80%以上。 ○「特別支援に関する教員の意識・技能が向上した。」と答えた教師80%以上。	・児童の実態や保護者の願いを把握するために、保護者との面談を年4回以上実施する。 ・特別支援に関する研修会を年2回以上行う。
○開かれた学校づくり	○学校運営協議会の取組の推進	○本校PTAとの連携を深め、鳥栖小校区の地域への情報の発信と、学校運営への参画を図る。	・学校運営競技委員会を開催し、必要に応じて連携を取りながら学校運営を行う。 ・学校だよりやコミュニティ通信及び学校のHP等で、学校の取組を紹介し、学校の取組について広く知らせる。
●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育			
5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>		